
いわて協創グローカル人材育成プログラム

令和 5 年度 活動報告書



目 次

いわて協創グローカル人材育成プログラムについて	1
令和5年度 いわて協創グローカル人材育成プログラム 派遣学生一覧	3
派遣学生報告書 石原 朋輝	4
派遣学生報告書 伊藤 琉乃介	7
派遣学生報告書 加藤 工卓	10
当協議会における海外留学派遣支援実績	13
令和5年度 いわてグローカル人材育成推進協議会 年間取組状況	16
「いわてグローカル人材育成推進協議会」会員企業・団体	17

いわて協創グローカル人材育成プログラムについて

1 目的

本事業では、「グローカル」な視点から、地域の課題や豊富なリソースを現実的かつ創造的に見極め、課題を解決するとともに、岩手県の潜在的価値を最大限に引き出し、将来の岩手県を導くリーダー人材を、産学官一体となって育成することを目指します。

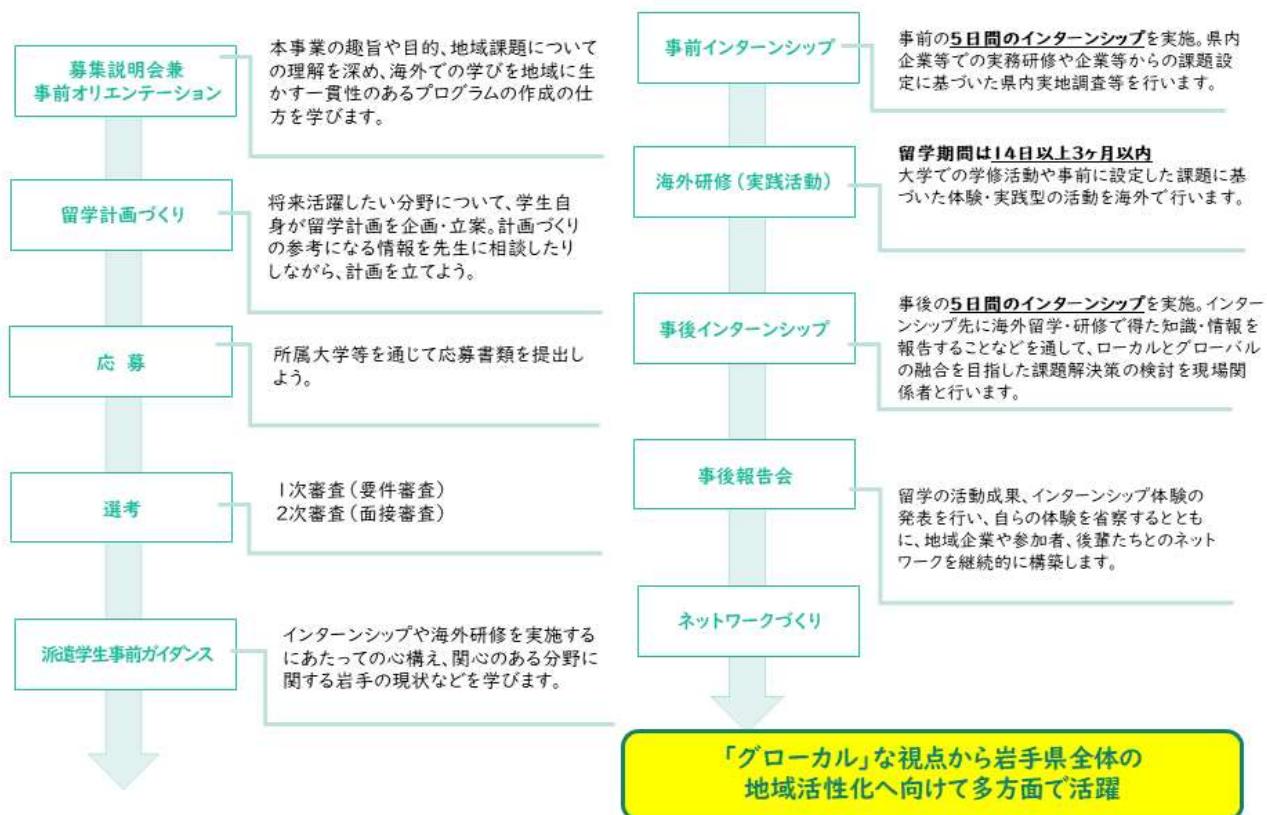
2 プログラム

- A. 県産品販路開拓人材育成プログラム
- B. ものづくり産業海外展開人材育成プログラム
- C. 交流人口拡大促進人材育成プログラム
- D. 持続可能型地域づくり人材育成プログラム
- E. 多様性人材育成プログラム

3 プログラム構成

応募予定の学生は、事前に実施される「募集説明会兼事前オリエンテーション」に参加し、本事業について理解した上で、コーディネーターや事務局に相談をしながらプログラムを作成し、応募します。

審査に合格し、採用された学生は留学期間前に事前ガイダンスに参加、県内企業などでの事前インターンシップを行った後、14日以上3ヶ月以内の海外留学・研修を行います。帰国後は、研修成果を地域に還元することを目的に、県内企業などでの事後インターンシップを行います。



4 令和5年度実施スケジュール

内 容	令和5年度募集 (追加募集)
募集期間	4/1～24 (7/8～9/12)
募集説明会	2/21,3/8,4/10 (7/11,7/14,8/7)
要件審査	4/27 (9/13)
面接審査	5/21 (9/23)
派遣学生決定	5/24 (9/27)
事前ガイダンス	6/18,7/9 (10/12)
事前インターンシップ [°]	留学開始前に5日以上実施
海外留学開始	8/1～3/16 (11/1～3/16)
事後インターンシップ	留学実施後速やかに5日以上実施
事後報告会	令和6年6月13日 ※総会と同日

令和5年度 いわて協創グローカル人材育成プログラム 派遣学生一覧

申請プログラム		E 多様性地域人材育成プログラム	
氏名等	いしはら ともき 石原 朋輝	岩手県立大学 総合政策学部総合政策学科	4年※
留学テーマ	岩手アンバサダーを育成するための土台作り	留学先	カナダ
留学期間	2023年10月10日～11月17日		39日間
インターン シップ先	事前	(株)TS(個別教室のトライ盛岡南校)、盛岡ミッションえいご塾	
	事後	(株)TS(個別教室のトライ盛岡南校)、盛岡ミッションえいご塾	

申請プログラム		D 持続可能型地域づくりプログラム	
氏名等	いとう りょうのすけ 伊藤 琉乃介	一関工業高等専門学校 未来創造工学科 化学・バイオ系	5年※
留学テーマ	環境大国フランスに学ぶ環境保全方法とその実践活動	留学先	フランス
留学期間	2023年9月3日～10月14日		41日間
インターン シップ先	事前	(公財)岩手県南技術研究センター、Next Iwate、(株)TOLIM	
	事後	(公財)岩手県南技術研究センター、Next Iwate	

申請プログラム		E 多様性地域人材育成プログラム	
氏名等	かとう のりたか 加藤 工卓	盛岡大学 文学部英語文化学科	3年※
留学テーマ	県産品を世界へ！	留学先	カナダ アメリカ
留学期間	2024年2月26日～3月22日		26日間
インターン シップ先	事前	(株)岩手日報社、みちのくコカ・コーラボトリング(株)、 紫波サイダリー(同)	
	事後	みちのくコカ・コーラボトリング(株)、紫波サイダリー(同)	

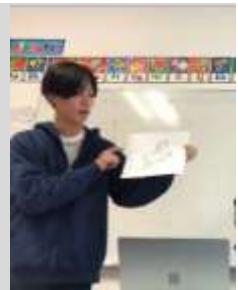
※派遣時点の学年

石原 朋輝

岩手県立大学 総合政策学部 4年

留学先： カナダ・バンクーバー

留学期間： 2023年10月10日～11月17日（39日間）



1 留学テーマ

「岩手アンバサダーを育成するための土台作り」

- ・岩手の魅力発信を担う人材を育成するために、第二言語の重要性に焦点を当てる。
- ・その中で英語教育について学ぶためにカナダのバンクーバーへの留学を計画。

【計画内容】

- ・事前インターンシップを通して、岩手の英語教育の現状を調査
- ・第二言語の習得に力を入れた教育を、実際に見て学ぶためにカナダのバンクーバーへ
- ・現地で学んだスキルや知識を活かし、自分なりの教育を各インターン先等で実践

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

【事前インターンシップ】

個別教室のトライ盛岡南校（株式会社 TS）

○取り組み内容

- ①授業見学
- ②授業の企画・指導の仕方レクチャー
- ③授業企画・体験
- ④講師インタビュー

○成果

- ・岩手の学生の英語学習の現状について学ぶことができた
- ・ティーチングスキル、コーチングスキルの重要性について知るだけでなく、身に付けることができた
- ・主に中学生、高校生との接し方を学ぶことができた。
- ・授業の計画の仕方を学ぶことができた

盛岡えいごミッション塾

○取り組み内容

- ①授業見学

- ②授業体験
- ③特別イベント見学
- ④講師インタビュー

○成果

- ・より英語に特化した教え方、授業の企画の仕方を学ぶことができた
- ・主に小学生(低学年、高学年両方)との接し方を学ぶことができた
- ・英語イベントの企画のノウハウを知ることができた

【事後インターンシップ】

個別教室のトライ盛岡南校 (株式会社 TS)

○取り組み内容

- 留学で得た知識、スキルのアウトプットを重視した
- ①授業企画・体験
 - ②学習環境議論
 - ③学習イベント企画

○成果

- ・留学で培った知識とスキルをしっかりとアウトプットすることができた
- ・今までの塾の体制や環境に対し、プラスアルファの効果を出す施策を考案した
- ・子どもたちの英語学習に関するサポートの幅を広げることができた

盛岡えいごミッション塾

○取り組み内容

- ①授業参加・補助
- ②特別イベント補助

○成果

- ・留学で培った知識とスキルをしっかりとアウトプットすることができた
- ・事前インターンの時よりも、講師の方をしっかりとサポートすることができた
- ・子どもとの接し方に磨きをかけることができた
- ・子どもたちの英語学習に関するサポートの幅を広げることができた

3 留学先での取り組み内容及び成果

○取り組み内容

- ①現地の英語指導法を学ぶ
 - 対面、工作、映像を通したすべての英語学習指導法を一通りインプット
- ②実際の授業を企画、再現、先生からフィードバック

③デイケアにて実習

○成果

- ・環境作りの重要性に気づいた→子供への接し方の工夫、先生のキャラクター
- ・現地の講師の方の教え方を生で見ることができた
- ・実習を通して、現地の子達とのコミュニケーションの取り方を学ぶことができた
- ・上記を踏まえ、日本人の学生への接し方の工夫に繋げることができた

4 当プログラムに参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

協賛企業の皆様、この度は、私の計画を見込み、援助していただき誠にありがとうございます。

海外の教育法、先生の立ち回り方には大きな違いがあり、非常に面白く、楽しく学ぶことができました。初めての海外で、緊張していた部分もありましたが、現地の人々と交流しながら、学習ができたことは私の人生の大きな財産になったと思います。

今回の留学で気づけたことは、英語学習において一番大切なことの一つは学習環境と、先生の雰囲気作りだということです。この部分の質を上げることで、子ども達の学習に対する意欲を大きく伸ばすことができると思います。そのため、今後の私の方針として、英語学習の環境作りを更に学んでいきたいと思っています。

留学での経験と今後の環境作りに関する学び、これから社会人としての経験と学びを活かし、絶対にカフェを実現させ、語学学習に積極的な子供たちを増やしていきたいです。English カフェで関わった子供たちが、将来協賛企業の皆様の力となり、岩手の魅力発信を行っていく流れを作る役割を担えるよう頑張ります。改めまして、本当にありがとうございました。

5 留学費用について

総額：73万3551円

プログラムによる支援：50万円(満額)

自己負担：23万3551円

6 語学力について

留学前：からうじて日常会話はできるレベル→留学後：日常会話であれば困らないレベル

やはり最初は思うように会話ができず苦労しましたが、それでもめげずに自由時間に交流イベントに参加して、話す機会をたくさん作りました。ホストファミリーとの会話は極力録音をして、いつでも聞き返せるようにしていました。それが実を結んで、1か月の短期間ではありましたが、多少の成長に繋がったと思います。

伊藤 琉乃介

一関工業高等専門学校 化学・バイオ系 5年

留学先：フランス・リール

留学期間：2023/9/3～10/14（41日間）



1 留学テーマ

環境大国フランスに学ぶ環境保全方法とその実践的活動

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

事前事後インターンシップは岩手県南技術研究センター様、株式会社 TOLIMS 様、Next IWATE 様の3社で行った。

岩手県南技術研究センター様では、企業向けの講座の補助員として運営に携わらせてもらった（図1参照）。材料に関する講座であり、自分の専門外の分野であったが、講座運営を通して金属の組織やその加工方法についての知見を深めることができた。また、私の留学のテーマが環境に関することであるため、参加者の方々に自社の環境に関する取り組みについてのインタビューを行い、県内企業の環境保全についての知見を深めることもできた。



図1 実習の様子

株式会社 TOLIMS 様では、社長の片野様の高校時代の1年間の長期留学のお話を聞くことができた。片野様は主な事業である TOLIC 商品の海外展開に加えて、INS（岩手ネットワークシステム）での活動や、地域の高校生を対象とした講座など、地方創生に向けたさまざまな取り組みを行っており、とてもアクティブな方であると感じた。インターンの最後に片野様から、テーマとしている環境や研究の事だけでなく、様々な視点から海外を見ると新しい発見があるというご助言をいただいた。その言葉を胸に、現地では多くの事にチャレンジし、とても学びの多い留学にできたと思う。

Next IWATE 様では環境教育についての企画を立案をさせていただいた。私は将来研究者になること加えて、教育分野にも携わっていきたいと思っている。これまで「教育」というものについてあまり深く考えてこなかったが、当たり前のように環境保全意識があるフランスの子供たちを見て、改めて教育のすごさを実感した。今回の Next IWATE での活動では上野様とともに、教育という観点から環境について考えることができ、ますます教育から社会を変えたいという気持ちが強くなった。この気持ちをずっと持ち続け、自分が教育業についた際に、社会に還元していきたいと思っている。

3 留学先での取り組み内容及び成果

実習先の研究室は主に有機触媒を専門としている研究室であった。本留学のテーマが環境に関することだったので、バイオポリマーに関するテーマをもらった。簡単に説明すると、天然高分子材料であるセルロースナノクリスタルに生分解性高分子であるポリカプロラクトンを反応させて複合材料を合成する際の、溶媒と触媒の最適な組み合わせを見つけるというものである(図2参照)。現地の研究室には日本人が一人もいなく、完全に英語での会話であったため、コミュニケーションの面で苦労したとともに、自分の知識の乏しさを実感した。しかし、普段の学校生活では勉強できないようなことを、多く学ぶことができ、大変貴重な経験となった。帰国後はその経験を活かしてより一層専門の勉強に力を入れ、卒業研究に取り組んだ。

研究室外の活動として、フランス国内の環境保全に関するフィールドワークを行った。スーパーや駅、友人の家になどあらゆる場面で環境意識の高さを感じさせられた。特に電気自動車の普及率には驚いた。現地でお世話になった友達家族は自動車を6台保有していたのだが、その半分は電気自動車であった。多少高価でも環境保全のために家族皆で決めて電気自動車に買い替えていた。製造時の環境負荷なども鑑みるとまだまだ課題が残る電気自動車であるが、少なくとも家族内で環境保全について話し合う機会を持つことこそが、フランスが環境大国と呼ばれる所以の一つなのではないだろうか。そう感じた瞬間だった。

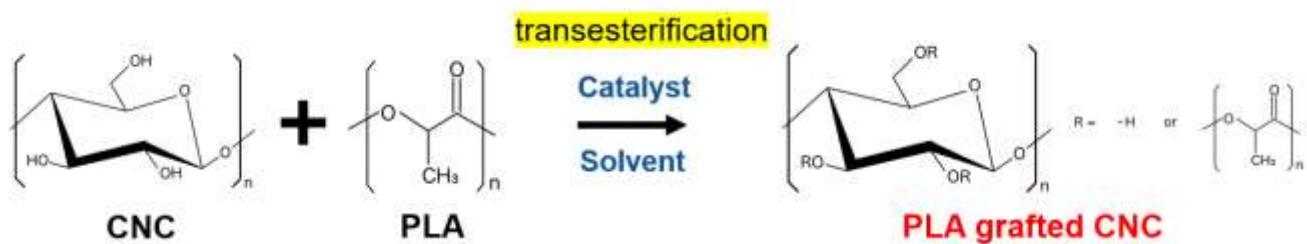


図2 研究テーマであった高分子反応(エステル交換反応)の反応スキーム

4 当プログラムに参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

私自身小中学生の頃から海外に行ってみたいという強い思いがあったが、周りに海外に詳しい人も、実際に行く機会もなく、今回が初めての海外となった。特に新型コロナウイルスの影響で渡航レベルが引き上げられ、また金銭的な面もあり高専在学中は海外に行くことをあきらめていた。しかし、そのような中でも本事業を実施してくれ、海外での活動を支援してくださった岩手県、そして協賛企業の方々には深く感謝している。コロナウイルスだけではなく、けがや病気、さらには政治的な問題などにより、いつ、どこで自分の行動が制限される事態になるかは分からない。そうなったときに後悔しないためにも、自分がやりたいこと、かなえたい夢のために「今」という時間を最大限に使って生きていきたいと思う。

5 留学費用について

留学先の IUT de Lille は一関高専の協定校であったため、授業料は必要なかった。費用の大まかな内訳として航空券 25 万円、寮費 11 万円、食費 5 万円、日用品 3 万円、洗濯 1 万円、現地交通費 2 万円であった。円安の影響で数年前よりだいぶ費用がかさんでしまったが、自炊や電車の事前予約などを使って費用を抑えた。奨学金として約 45 万円いただいたので、殆どそれでまかなう事ができた。

6 語学力について

現地の公用語はもちろんフランス語であるが、英語を話せる人がかなり多い印象を受けた。自分は TOEIC 600 点ほどの英語力しかなく、渡航前はとても不安だった。案の定、現地に到着してからの 1、2 週間は、相手の言っていることが分からなかったり、伝えたいことをどう表現すればいいのかわからなかったりしてとても苦労した。しかし、「わからなかったことはそのままにせずに、聞きなおすこと」と「できるだけ簡単な文法に置き換えて文を組み立てて話すこと」の 2 点を徹底し、日常会話程度ならスムーズにコミュニケーションをとれるようになっていった。しかし、研究室での会話は、知らない専門用語の単語や複雑な表現ばかりであったため、スムーズに会話することは最後までできず、悔しく思っている。今はその悔しさをばねに、科学の分野で使われる専門用語や論文でよく用いられる表現なども勉強している。

加藤 工卓

盛岡大学 文学部英語文化学科 4年

留学先：カナダ・ビクトリア、アメリカ・シアトル

留学期間：2024/2/26～3/22（26日間）



1 留学テーマ

県産品を世界へ！

～SNSを活用したホップサイダーの販路拡大～

2 事前事後インターンシップでの取り組み内容及び成果

【事前インターンシップ】

事前インターンシップでは、まず販路拡大を目指す製品を製造している紫波サイダリー合同会社様で様々な課題や製品についてのヒアリングを行った。結果、大きく2つの課題があることが明らかとなった。

まず1つ目は、日本でのサイダーの認知度が低いという課題である。カナダ、アメリカをはじめとする欧米では「サイダー」という言葉を聞くとりんごを用いたお酒という認識であるのに対し、日本では清涼飲料水のようなジュースが連想されている。したがってまず日本では、「サイダー＝ジュース」という認識を変え、「サイダー＝りんごのお酒」というイメージを持ってもらう必要性がある。

2つ目は価格についてである。サイダーは355ml/600円ほどの価格で販売され、味はスパークリングワインに近いものである。ワインを例に考えると平均的に1本1500円ぐらいの価格で販売され、消費者はその量と価格に価値を見出しているため、購入者は一定数いる。しかしサイダーではどうだろうか。ワインに比べ量も価格も半分であるのに対して、消費者は価値を見出せていないため、少し高価なものであると感じてしまう。

また、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社様では、効率的な製品の販売方法や主な内容としてはボトリングについてであり、瓶や缶を使うことについてのメリットとデメリット、SDGsの取り組みについて教えていただいた。社会のニーズとして企業側のSDGsに対する取り組みや瓶や缶で飲む消費者側の心理についても今後考えていく必要があると感じた。

【事後インターンシップ】

帰国後は事後インターンシップとして上記2社に再びお伺いさせていただき、留学の成果報告と意見交換を行なった。

取り組みはまだ始まったばかりであり数字として成果はまだ出でていないが、紫波サイダリー合同会社様は県内の小さなイベントをはじめ国内のサイダリーカップへの参加も始めた事により、少しづつではあるが地元テレビ局の取材や出演が増えてきている。今後としては、さらに SNS の発信を進めていきサイダーとは何かを海外のみならず日本国内での認知度向上に向けて取り組んでいきたいと考えている。

3 留学先での取り組み内容及び成果

留学先では主にサイダーを生産しているサイダリーへ行き商品や広告についての調査をした。カナダのビクトリアにある「Sea Cider Farm & Ciderhouse」でインタビューを行なった。調査対象とした理由は、六代続くサイダリーで長い歴史があり、これまでの実績とノウハウがあることと、サイダリーのInstagram アカウントのフォロワーが現在およそ 2 万人と SNS での発信に力を入れているからである。またリカーストアでサイダーの人気や他アルコール製品との売り上げ比率や海外の販売状況について調査した。そして自分と同年代の学生(日本とカナダ)をターゲットとし、若年層のサイダーの認知度や好みについてインタビューや Google Forms を活用しアンケート調査を行った。



図 1 インタビューの様子

成果として、サイダリーでは SNS の活用が製品の認知度向上とイベントや新製品の告知には有効的であるが売り上げ向上には直接関係せず、実際にお客様と会い会話を交えながらテイスティングを行うことが有効的であるという結果が得られた。留学前に自分が考えていた、インターネットを含む「広告」が直接販売につながるという考えが少し違っている事がインタビューにより分かった。またリカーストアでの調査からは、サイダーを生産しているのはローカルの生産者さんが多いため、B2C(Business to Customer)より D2C(Direct to Consumer)の販売モデルをとるケースが多いことが分かった。学生に行なったサイダーについてのアンケートでは、日本の認知度はおよそ 30% だったのに対し、カナダでは 100% に近い認知度であった。またサイダーを知っている日本人の中で実際に飲んだことがあるのは 70% であった。

以上のように、留学先での実践活動を通して県産品としてりんごのホップサイダーの販路拡大に向けた様々な知見やノウハウを得ることができたのは大きな収穫であった。

4 当プログラムに参加しての感想・協賛企業へのメッセージ

私はこのプログラムに参加し、グローバルな視点で物事を考えられるようになっただけでなく、以前より自発性を高めることができ自分の成長につながり、改めて岩手の良さを感じるきっかけにもな

りました。多様性地域人材育成プログラムで独自の視点で地域創生に向けての問題設定から課題解決へと、これらの流れには何が必要か自分で深く考えることができました。

また実際に海外に行く事により、文化の違いなどを実感し勉強面以外の学びもたくさんありました。末筆ではございますが、今回このような機会をいただき誠にありがとうございます。自分の力だけではする事ができない経験ができ、とても感謝しております。今後は当プログラムで得た経験を生かして、県産品の魅力発信や留学経験を後輩たちに伝えて、県内の地域活性化へ向けて努めたいと考えています。本当にありがとうございました。

5 留学費用について

留学先のカモーソン大学は盛岡大学の姉妹校であり、姉妹校の語学留学プログラムに参加した。そのプログラム費用の内訳は、渡航費、授業料、3週間のホームステイ代を含み約65万円であった。アメリカの滞在費は10万円で、お土産などその他雑費で5万円であった。円安により物価がかなり高騰していたが、インターネットで様々な事前予約をする、あまり外食をせず自炊を心がけることにより費用を抑えた。いただいた50万円の奨学金に加え、30万円を自分で貯め留学費用に充てた。

6 語学力について

渡航前は簡単な英語での日常会話ができる程度の語学力であった。留学に向け、大学のネイティブの教授と多く話す、交換留学で盛岡大学に来ている留学生と積極的に話すなどアウトプットのスピーキング練習に取り組んだ。

その結果、留学後は現地の人が話すスピードに慣れ、聞き返すことが少なくなりリスニング力が向上した。しかし一方で、自分の考えなどをうまく伝えられるような長文の英語で会話することができないという新たな課題も生まれた。自分の考えを思うように伝えることができなかつたという悔しい経験から、今はさらなる単語の習得や文法表現などの勉強をしている。

当協議会における海外留学派遣支援実績
(平成 29 年度～令和 5 年度)

I 概況

支援スキーム	文部科学省 トビタテ！留学JAPAN				協議会独自			
派遣年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
応募者数(人)	8	7	9	8	—	6	5	43
支援者数(人)	7	5	8			3	3	26
奨学金等 支給額	4,816千円	2,774千円	7,142千円		新型コロ ナウイル スの感染 拡大のた め派遣中 止	1,203千円	1,450千円 (予定)※	17,385千円
内 訳	国交付金	3,064千円	1,664千円	3,997千円		—	—	8,725千円
	協議会	1,752千円	1,110千円	3,145千円		1,203千円	1,450千円 (予定)※	8,660千円

※事後インターンシップの実施が令和6年度以降となる学生を含むため変更となる可能性あり

2 支援内容

(派遣学生所属先、概要 [①海外研修テーマ、②海外研修期間と研修国、③事前事後インターンシップ先])

平成 29 年度 (支援者 7 名)《トビタテ！第 7 期生》		
1	岩手大学 教育学部	① カナダの駅舎から受けるインスピレーションを活用した魅力的な「玄関」としての駅舎構築による、列車を利用したいわて観光の浸透《コース C》 ② 1か月／カナダ ③ 事前事後) IGR いわて銀河鉄道(株)、(株)サラダファーム
2	岩手大学 農学部	① 世界へ羽ばたけ！ Japanese SAKE 南部美人《コース A》 ② 2か月／アメリカ ③ 事前事後) (株)南部美人、酒米農家、事前のみ) Sake Discoveries, LLC
3	岩手大学 人文社会科学部	① 「岩手発」で再生可能エネルギーの浸透を－欧洲の先行事例に学ぶ－《コース D》 ② 5か月／ドイツ・スイス ③ 事前) 岩手県中小企業家同友会 事後) サステナジー(株)岩手営業所
4	岩手大学 農学部	① ロハス的な理想郷を目指して 地域と考える、豊かなまちづくり《コース D》 ② 2か月／イギリス、ドイツ、スイス ③ 事前事後) 岩手県中小企業家同友会
5	岩手大学 人文社会科学部	① 世界の被災地から学ぶ多文化社会《コース D》 ② 1か月／インドネシア ③ 事前) 岩手県総合防災室、遠野まごころネット 事後) 遠野まごころネット
6	岩手県立大学 盛岡短期大学部	① “被災地いわて”から“観光の街いわて”へ！私たちが住みたくなる街は、私たちの手で作る。《コース C》 ② 6か月／台湾 ③ 事前) (株)岩手ホテルアンドリゾート 事後) 北上観光コンベンション協会
7	一関工業高等 専門学校	① バイオマス分解因子と基質の相互作用観察 (等温滴定型熱量測定)《コース D》 ② 1か月／ノルウェー ③ 事前) (公財)岩手県南技術研究センター 事後) 岩手県農業研究センター

平成 30 年度 (支援者 5 名) 《トビタテ！第 9 期生》

1	一関工業高等専門学校	① タイでの多様なコメ食文化を通じて岩手の米の消費拡大を考える ～米麺の可能性・三大麺から四大麺へ～ 《コース C》 ② 1か月／タイ ③ 事前) (公財) 岩手県南技術研究センター 事後) 岩手県農業研究センター
2	岩手大学 農学部	① リンゴで橋を。岩手からベトナムへ 《コース A》 ② 5か月／ベトナム ③ 事前) (株)柳家・白金運輸(株) 事後) (株)柳家
3	岩手大学 人文社会科学部	① I DESIGN いわての木製雑貨で起業！ 《コース A》 ② 3か月／イギリス、フィンランド ③ 事前事後) 岩泉純木家具(有)
4	岩手大学 農学部	① かもめの玉子の力で岩手の魅力を世界へ発信！ 《コース A》 ② 2か月／台湾 ③ 事前事後) さいとう製菓(株)
5	岩手医科大学 医学部	① ハンガリー ペーチ大学での短期留学 《コース E》 ② 1か月／ハンガリー ③ 事前事後) 岩手県医師会

令和元年度 (支援者 8 名) 《トビタテ！第 11 期生》

1	岩手医科大学 医学部	① ハンガリー ペーチ大学にて医療を学ぶ 《コース D》 ② 1か月／ハンガリー ③ 事前事後) 県内医療機関
2	一関工業高等専門学校	① RMIT(Royal Melboune Institute of Technology) 大学で行う、漫然運転防止のためのウェアラブル型デバイスの開発 《コース B》 ② 3か月／オーストラリア ③ 事前事後) (公財) 岩手県南技術研究センター
3	岩手大学 人文社会科学部	① 大船渡市の活性化を目指す観光のエキスパートへの第1歩プロジェクト 《コース C》 ② 2か月／アメリカ ③ 事前事後) 大船渡市商工港湾観光推進室、JF 綾織漁業協同組合
4	岩手大学 教育学部	① 児童文学を生かした観光 《コース C》 ② 2か月／カナダ ③ 事前) 花巻市生涯学習部賢治まちづくり課、花巻観光協会 事後) 花巻市生涯学習部賢治まちづくり課
5	岩手大学 教育学部	① 表情豊かな自然で伝えるいわて観光の魅力 《コース C》 ② 5か月／カナダ ③ 事前事後) 盛岡市市民文化部文化国際課、岩手県商工労働観光部観光課、IGR いわて銀河鉄道
6	岩手大学 理工学部	① 自然が豊かな岩手県における、木質バイオマス資源の利用による循環型社会の実現をスウェーデンから学ぶ 《コース D》 ② 5か月／スウェーデン ③ 事前事後) 紫波グリーンエネルギー(株)
7	岩手大学	① 地域に根差した ICT 教育～児童の未来を支え、教員に負担の少ない社会を創る 《コ

	教育学部	ース E》 ② 5か月／オーストラリア ③ 事前事後) 県内小学校、岩手県立総合教育センター、IGR いわて銀河鉄道他
8	岩手大学 教育学部	① インクルーシブ教育の充実に向けて《コース E》 ② 6か月／オーストラリア ③ 事前事後) 県内小中学校
令和2年度		
新型コロナウイルス症の感染拡大のため、応募学生の採用を見送った。		
令和3年度		
新型コロナウイルス症の感染拡大のため、海外留学派遣募集を中止した。		
令和4年度		
1	岩手大学 農学部 共同獣医学科	① 岩手県の家族経営型酪農家の魅力を広げる《コース E》 ② 38日間／フランス ③ 事前) 湯田牛乳公社、中洞牧場、小岩井農場、伊藤農場 事後) 温泉ジェラート、三谷牧場
2	岩手大学 農学部 共同獣医学科	① スイスのヒツジ・ヤギ飼育とその活用を学ぶ《コース E》 ② 43日間／スイス ③ 事前) 下大桑ヒツジ飼育者の会、しあわせ牧場、中村工房、ムンフバットさんの羊牧場 事後) 下大桑ヒツジ飼育者の会、しあわせ牧場、ムンフバットさんの羊牧場
3	一関工業高等 専門学校 未来創造学科	① タイ・バンコクにおける岩手の食・文化・観光の魅力の発信と調査《コース A》 ② 20日間／タイ ③ 事前事後) (公財) 岩手県南技術研究センター
令和5年度		
1	岩手県立大学 総合政策学部 総合政策学科	① 岩手アンバサダーを育成するための土台作り《コース E》 ② 39日間／カナダ ③ 事前事後) (株)TS(個別教室のトライ盛岡南校)、盛岡ミッションえいご塾
2	一関工業高等 専門学校 未来創造学科	① 環境大国フランスに学ぶ環境保全方法とその実践活動《コース D》 ② 41日間／フランス ③ 事前) (公財) 岩手県南技術研究センター、Next Iwate、(株)TOLIM 事後) (公財) 岩手県南技術研究センター、Next Iwate
3	盛岡大学 文学部 英語文化学科	① 県産品を世界へ！《コース E》 ② 26日間／カナダ・アメリカ ③ 事前) 岩手日報社、みちのくコカ・コーラボトリング(株)、紫波サイダリー(同) 事後) みちのくコカ・コーラボトリング(株)、紫波サイダリー(同)

令和5年度 いわてグローカル人材育成推進協議会 年間取組状況

実施内容	
4月	4月1日（土）～24日（月） 応募申請受付
	4月10日（月） 募集説明会
	4月27日（木）～5月8日（月） 要件審査
5月	5月9日（火） 第1回運営委員会
	5月21日（日） 面接審査
	5月23日（火）、26日（金） 令和4年度決算監査
6月	6月7日（水） 第1回グローカル人材育成プロジェクトミーティング（事務局・各大学等）
	6月18日（日） 事前ガイダンス（安全講習等）
	6月20日（火）、23日（金） 所属学校への事務手続き説明
	6月28日（水）～7月4日（火） 第2回運営委員会（書面開催）
7月	7月9日（日） 事前ガイダンス（計画紹介等）、留学計画動画撮影
	7月11日（火）、14日（金） 募集説明会①、②（追加募集）
	7月8日（土）～9月12日（火） 応募申請受付（追加募集）
8月	8月7日（月） 募集説明会③（追加募集）
9月	9月11日（月） 県内学生と企業とのワークショップの開催
	9月12日（火） 外国人留学生等の県内企業訪問 (㈱南部美人、北のチョコレート工場 2door)
	9月13日（水） 要件審査（追加募集）
	9月23日（土） 面接審査（追加募集）
10月	10月12日（木） 事前ガイダンス
11月	11月3日（金・祝） グローバルキャリアフェア 事前オリエンテーション
	11月18日（土） グローバルキャリアフェア in 岩手
1月	1月22日（月） 第1回グローカル人材育成プロジェクトチームミーティング
	1月30日（火） 第3回運営委員会
2月	2月8日（木） 令和6年度派遣募集案内開始
	2月9日（金） 令和6年度派遣募集説明会（岩手県立大学）

※緑色：海外留学支援事業に関する取組 ※黄色：外国人留学生等の定着支援事業に関する取組

「いわてグローカル人材育成推進協議会」会員企業・団体（50 音順）

令和 6 年 6 月 1 日現在

第 1 号会員

団体

公益財団法人岩手県観光協会
岩手県商工会連合会

一般社団法人岩手県建設業協会
岩手県中小企業団体中央会

岩手県商工会議所連合会

企業

I G R いわて銀河鉄道株式会社
いわぎん事業創造キャピタル株式会社
株式会社岩手日報社
及源鋳造株式会社
さいとう製菓株式会社
白金運輸株式会社
株式会社中央コーポレーション
株式会社トーノ精密
株式会社日ピス岩手一関工場
株式会社ミクニ
株式会社盛岡地域交流センター
リコインダストリアルソリューションズ株式会社花巻事業所

アイシン東北株式会社
株式会社岩手銀行
株式会社岩手ホテルアンドリゾート
株式会社北日本銀行
株式会社 JTB 盛岡支店
株式会社たまごファクトリー
株式会社テレビ岩手
株式会社ナレロー
東北リゾートサービス株式会社
みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
株式会社柳家

株式会社アイビーシー岩手放送
岩手県北自動車株式会社
株式会社いわてラボ
株式会社ゴーイングドットコム
株式会社十文字チキンカンパニー
株式会社千田精密工業
株式会社東北銀行
株式会社南部美人
株式会社ベスト
盛岡ターミナルビル株式会社
谷村電気精機株式会社
和同産業株式会社

機関

岩手県

岩手大学

公益財団法人岩手県国際交流協会

第 2 号会員

団体

一般社団法人岩手経済同友会
岩手県中小企業家同友会
独立行政法人国際協力機構東北センター

一般社団法人岩手県医師会
いわて高等教育コンソーシアム
公益財団法人ふるさといわて定住財団

岩手県森林組合連合会
公益財団法人いわて産業振興センター

企業

株式会社アイシーエス
株式会社岩手めんこいテレビ
株式会社小林精機
株式会社西部開発農産
株式会社東亜電化
東京海上日動火災保険株式会社盛岡支店
花巻温泉株式会社
富士通 Japan 株式会社

岩手県空港ターミナルビル株式会社
川嶋印刷株式会社
三陸鉄道株式会社
株式会社タカヤ
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社
東北電力株式会社岩手支店
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社岩手支店
株式会社ユアテック岩手支社

岩手県産株式会社
けせんプレカット事業協同組合
株式会社ジャパンセミコンダクター
株式会社デンソー岩手
株式会社長島製作所
株式会社吉田測量設計

市町村

盛岡市
北上市
雫石町
西和賀町

大船渡市
一関市
紫波町
軽米町

花巻市
奥州市
矢巾町

いわてグローカル人材育成推進協議会

令和6年6月

Email glocal-iwate@iwate-ia.or.jp

URL <https://iwate-glocal.jp/>

- 岩手県ふるさと振興部国際室内 〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL 019-629-5765 FAX 019-629-5254
- (公財) 岩手県国際交流協会 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1
いわて県民情報交流センター(アイーナ)5階
TEL 019-654-8900 FAX 019-654-8922